

可視化機能チートシート

データの列のタイプ、可視化の観点および変数の数から、Alkano、BayoLinks可視化機能の典型的な利用例をご案内します。

No.	性別 Category	年代 Category	居住地 Category	職業 Category	世帯構成 Category	利益 Integer	購買点数 Integer	平均購入単価 Float	最終購買日 Date
1	男	40代	東京	会社員	夫婦	3	2	1,500,000	2013/05/28
2	男	10代	東京	学生	夫婦(子供あり)	319	6	159,500,000	2013/04/22
3	男	30代	神奈川県	会社員	二世帯家族	1,315	15	657,500,000	2013/05/11
4	男	30代	神奈川県	その他	夫婦(子供あり)	2,745	29	1,372,500,000	2013/05/23
5	男	20代	埼玉	自営業	夫婦(子供あり)	489	5	244,500,000	2013/01/17
6	男	10代	千葉	学生	夫婦(子供あり)	6	1	3,000,000	2013/01/02
7	男	40代	埼玉	会社員	夫婦(子供あり)	2,089	21	1,044,500,000	2013/09/03
8	女	10代	東京	学生	夫婦(子供あり)	9	1	4,500,000	2013/04/29
9	女	20代	神奈川県	自営業	独身	13	3	6,500,000	2013/09/19
10	男	40代	埼玉	その他	夫婦(子供あり)	2,601	21	1,300,500,000	2013/06/26

可視化する列のタイプ

カテゴリ

数値

可視化の観点

カウントする

割合を示す

分布を示す

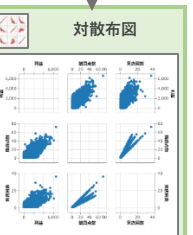
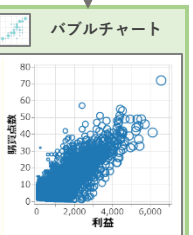
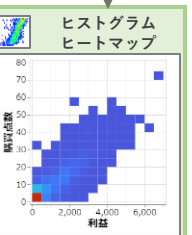
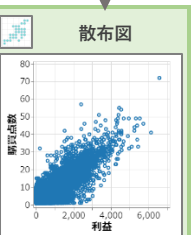
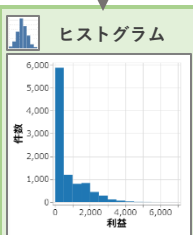
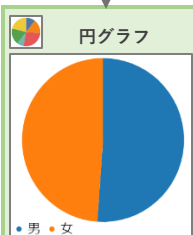
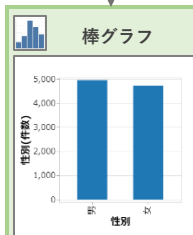
変数の数

1変数

2変数

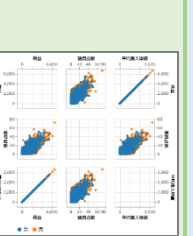
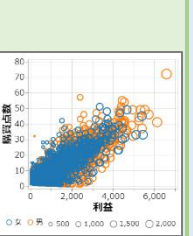
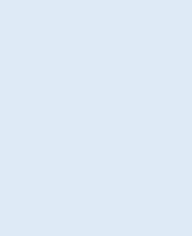
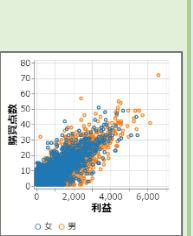
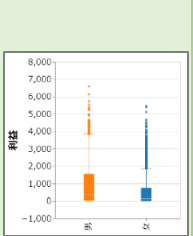
3変数

多変数

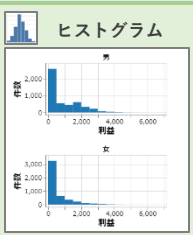
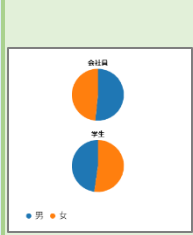
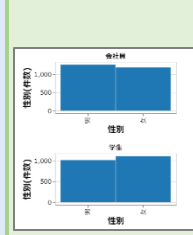


【層別】で
観点を加えてみよう

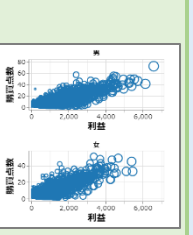
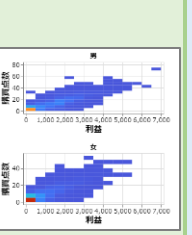
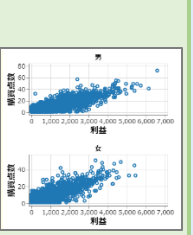
【層別】
指定したカテゴリ属性を軸として、その値毎に
グラフを重ねて作成する機能です。



【トレリス】
で観点を
加えて
みよう



【トレリス】
指定したカテ
ゴリ属性を軸
として、その
値毎にグラフ
を別々に作成
する機能です。



◆ 時系列データの可視化

No.	最終購買日 Date	利益合計 Integer	購買点数合計 Integer	延べ来店回数 Integer
1	2013/01/01	15,812	184	80
2	2013/01/02	30,849	264	102
3	2013/01/03	15,630	164	69
4	2013/01/04	25,348	268	106
5	2013/01/05	12,975	144	59
6	2013/01/06	25,483	268	103
7	2013/01/07	14,322	160	68
8	2013/01/08	18,153	200	88
9	2013/01/09	32,171	303	127
10	2013/01/10	16,854	171	58

◆ 集計済データの可視化

No.	顧客層 Category	店舗A来店回数平均 Float	店舗B来店回数平均 Float
	男 40代	12.474458	4.804180
	男 10代	3.119104	1.536557
	男 30代	11.184227	4.302839
	男 20代	3.637327	1.722901
	女 10代	3.059150	1.512015
	女 20代	3.470046	1.652535
	女 40代	8.560400	3.427793
	女 30代	6.554036	2.702462

可視化する列のタイプ

ラベルと数値

可視化の観点

推移を示す

ラベルと数値の対応を示す

変数の数

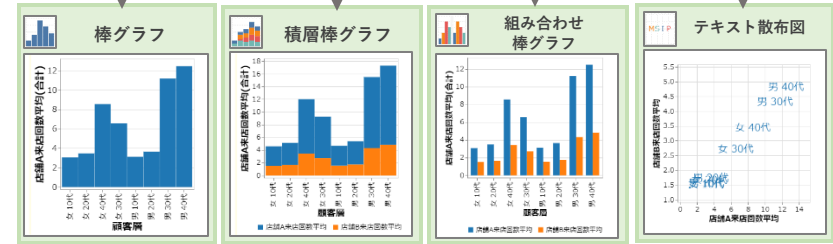
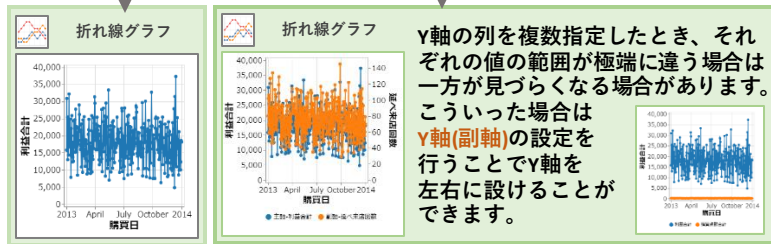
数値1変数

数値多変数

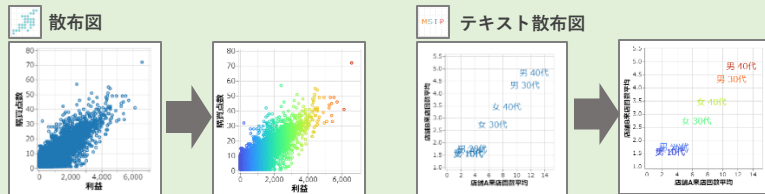
数値1変数

数値多変数

数値2変数



散布図・バブルチャート・テキスト散布図には「色調軸」の設定が存在します。ここに数値列を指定することで、指定した数値軸の値に応じてグラデーションによる色付けを行うことができます。



棒グラフ・積層棒グラフ・折れ線・ヒストグラム・積層ヒストグラムの5つは、X軸に沿った累積値を表示するための手段を設けています。それぞれ、以下のグラフを利用します。

